

サンタクロースになってみた

花き装飾コース 佐々木 海力

(指導教員：村瀬 友衣)

1. はじめに

私は来春、就職先の生花店において、ブライダル装花を担当する所属へ配属される予定である。ブライダルでは、大きなディスプレイや装花を行うため、入社後即戦力として業務を遂行できるよう、国営木曽三川公園江南花卉園芸公園フラワーパーク江南(以下、公園とする。)においてディスプレイ制作を行うことにした。私には「花と緑を通してたくさんの人に感動と喜びを感じてもらいたい」という思いがある。そのため、本制作ではディスプレイ制作の技術習得に励むだけでなく、観覧者に感動や喜びを感じてもらえる作品をつくることを目標に、クリスマスディスプレイを制作することとした。

2. テーマ設定

テーマは「サンタクロースになってみた」とし、サンタクロースが乗るソリをメインとしたディスプレイとした。実際にソリに乗って写真撮影をできるようにし、クリスマスの思い出となるような作品を目指した。

3. スケジュール

・事前準備(11月19日～12月3日)

ソリ制作・プレゼントボックス制作・背景の着色・枝物の収穫

・施工1日目(11月26日)

パネル制作・ソリ制作・クリスマスツリー制作

・施工2日目(12月4日)

ポインセチアとヤナギの植栽・クリスマスツリー、プレゼントボックスの固定

4. 制作概要

(1) ソリ制作

事前制作ではパーツの制作を行った。基本の枠組みにはスタイロフォームとプラスチックダンボールを用い、底となる部分のみ木板で制作することとした。パーツを切り出し、着色を行った。

施工1日目に、現地で組み立てを行った。結合部分は木工用ボンドで接着した。すべてのパーツを接着後、欠けている部分を修復し、着色をした。ソリの底辺となる木板を床のデッキパネルに固定した。木板の上にソリを置き、木工用ボンドで固定した。ソリ内には椅子を2脚設置し、来園者がソリに座って写真を撮れるようにした。最後にプレゼントボックスをソリ上に配置し、グルーガンで固定した。



(2) クリスマスツリー制作

施工1日目に、オベリスクにスワッグ状にした枝物を取り付け、オーナメントを取り付けて制作した。完成後、設置しようとしたが不安定だったため断念し、次回までに対策を施すこととした。1日目の施工後から展示を開始する予定だったが、施工2日目に安全対策を万全にしたうえで開始することにした。

施工2日目、下に赤く着色した木板を敷き、オベリスクと木板をワイヤで固定した。さらに木板の上には重りとしてレンガを置き、安定させた。



5. メンテナンス

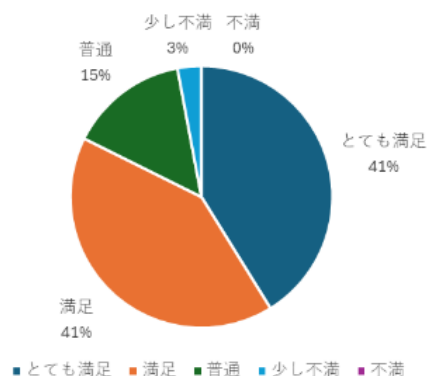
ソリの欠けている部分を修繕した。特に出入り口の足元部分が欠けていたため、スタイロフォームの上からプラスチック板を貼り補強をした。また、ポインセチアが萎れて株元付近の葉が枯れていたため枯葉を取り除き灌水をした。



6. アンケート

アンケートを設置し、お客様に調査した。「ディスプレイは満足したか」という問いでは「とても満足」と「満足」とともに41%で、合わせて8割を占めており、ほとんどのお客様に満足していただけるディスプレイとなった。しかし、「少し不満」の回答をした方からは、「もう少し華やかさが欲しかった」、「トナカイがいたらよかった」との意見をいただいた。

ディスプレイは満足したか



3. まとめ

今回公園の施工を行って、ディスプレイを一から制作するにはどれだけの時間が必要なのか、費用はどれくらいかかるのか、設置したものの転倒の恐れや子供が怪我をしない作りになっているかなどの安全対策等、アレンジメントや花束を作るのとは違う観点を学ぶことができた。自分が満足するディスプレイではなく事前に会場の特性やお客様の特徴を把握し、それに合わせたデザインを考えるなど、見てくれた方が満足のいくディスプレイ制作をするのはとても難しかったが、見に来ていただいた方に喜んでいただくことができたため、ディスプレイを制作できてよかったと思った。しかし、メンテナンスをした際に、スタイロフォームが欠けていたり、塗装がはがれてしまうなど改善する余地がまだあったので、準備の段階で起こりうるリスクを想定して計画していくことが大事だと思った。就職してからもディスプレイを制作する機会があるため、今回の制作を今後に活かしていきたい。